

白い馬 (1952)

CRIN BLANC: LE CHEVAL SAUVAGE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 40分

初公開日 不明

リバイバル 2008/07/26 [カフェグルーヴ=クレストインターナショナル]

【解説】

ラモリスはさかんに空を飛び回る映画ばかり撮ったが、これはその前の、大地をかける掌編。フランス南部のカマルグ地帯、野性馬のリーダーの白い馬クラン・ブランは、馬飼いの一団の垂涎の的だった。しかし誰一人これを捕らえられる者はなく、彼らは獵師の少年に、捕まえたらお前にやる、と吐き捨てる。ある日、葦に火を放たれ、逃げ惑う白馬を少年が救って以来、彼らは大親友となる。馬飼いたちに追いかけられた彼らは、海の中までも駆けて行く……。美しいモノクロの映像詩。なびくたてがみ、あがる水しぶき、裸馬にはだしでまたがる少年、そしてラモリスお得意のヘリコプターによる俯瞰ショットが、彼らの自由への逃亡を永遠のものにする。53年度カンヌ短篇グランプリ、及びジャン・ヴィゴ賞。

【クレジット】

監督 アルベール・ラモリス Albert Lamorisse
脚本 アルベール・ラモリス Albert Lamorisse
撮影 エドモン・セシャン Edmond Sechan
音楽 モーリス・ルルー Maurice LeRoux
出演 アラン・エムリイ Alain Emery
パスカル・ラモリス Pascal Lamorisse